

令和2年度事業計画書

(令和2年2月1日から令和3年1月31日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第120回日本外科学会定期学術集会をハイブリッド方式（現地開催・Web開催の併用）で、下記のとおり行う。

日時 令和2年8月13日～15日

場所 パシフィコ横浜ノース（横浜市）

参加予定者数 14,000名 演題予定数 2,100題

テーマ「命と向き合い外科医として生きる-To live as a surgeon : Looking life in the eye-」

- ・第120回記念式典を下記のとおり行う。

日時 令和2年8月14日

場所 パシフィコ横浜ノース（横浜市）

- ・学術集会の在り方を検討する。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を検証する。

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する（通常号は電子ジャーナルとして発行し、希望により配本する）。

発行年月日	巻	号	発行部数
令和2年 3月 1日	121	2	8,600
令和2年 5月 1日	121	3	8,600
令和2年 7月 1日	121	4	8,600
令和2年 9月 1日	121	5	8,600
令和2年11月 1日	121	6	8,600
令和3年 1月 1日	122	1	8,600

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
令和2年 2月 1日	50	2	40,000
令和2年 3月 1日	50	3	40,000
令和2年 4月 1日	50	4	40,000
令和2年 5月 1日	50	5	40,000
令和2年 6月 1日	50	6	40,000
令和2年 7月 1日	50	7	40,000
令和2年 8月 1日	50	8	40,000
令和2年 9月 1日	50	9	40,000
令和2年10月 1日	50	10	40,000
令和2年11月 1日	50	11	40,000
令和2年12月 1日	50	12	40,000
令和3年 1月 1日	51	1	40,000

- ・ Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行する。

発行年月日	巻
令和2年 2月1日	6
令和2年 3月1日	6
令和2年 4月1日	6
令和2年 5月1日	6
令和2年 6月1日	6
令和2年 7月1日	6
令和2年 8月1日	6
令和2年 9月1日	6
令和2年10月1日	6
令和2年11月1日	6
令和2年12月1日	6
令和3年 1月1日	7

- ・ 外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し、発刊する。
- ・ 第120回日本外科学会定期学術集会までの歴史と、過去20年間に取り組んだ課題を纏めた記念誌を発刊する。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS), College of Surgeons of East, Central and Southern Africa (COSECSA), The Association of Surgeons of India (ASI)などと学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行う。
- ・ Royal College of Surgeons England (RCS) の International Surgical Training Programme (ISTP) に参加候補者を決定する。
- ・ 日本医学会, 日本医学会連合, 日本医療機能評価機構, 日本女性外科医会, 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制を検討する学術連合体」の活動に積極的に参画する。
- ・ 外科系18学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討する。

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・ 標準手術ビデオを5本作成して、ビデオライブラリーに収載する。
小寺 泰弘（名古屋大学）
海野 倫明（東北大学）
小澤 壯治（東海大学）
池田 徳彦（東京医科大学）
齊藤 光江（順天堂大学）
- ・ 「外科研究の利益相反に関する指針」に基づき、該当者から利益相反自己申告書を回収する。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・ 外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定する。

- ・日本専門医機構と協働して、わが国の新しい専門医制度の運用のために、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、専攻医の研修登録を行うと共に、専攻医の研修状況を管理する。
- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催する（E-learningを含む）と共に、関連学会が開催する専門医共通講習および外科領域講習について審査を行う。
- ・外傷講習会をE-learningで開催し、また、日本外傷診療研究機構、日本 Acute Care Surgery 学会、日本腹部救急医学会、日本外傷学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化する。
- ・厚生労働特別研究として、外科領域における新専門医制度の「地域医療への配慮」と「専門医の質の向上」に及ぼす影響を評価すると共に、必要専門医師数の算出やその医師配置のシミュレーションを行う。
- ・「日本における外科研修の現状に関する全国アンケート調査」の分析結果を論文化して公表する。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・第24回臨床研究セミナーを下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。
日時 令和2年8月15日
場所 パシフィコ横浜ノース（横浜市）参加予定者数 500名
- ・第25回臨床研究セミナーを日本臨床外科学会と共催で下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。
日時 令和2年10月中
場所 大阪国際会議場（大阪市）参加予定者数 500名
- ・第27回研究奨励賞（Surgery Today Research Award）を表彰する（5名）。
- ・第3回Surgical Case Reports 優秀論文賞（Best Surgical Case Reports award）を表彰する（11名）。
- ・Surgery Today と Surgical Case Reports の Best Reviewer Award を表彰する（各5名）
- ・第120回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な11演題（予定）をビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給する。
- ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）の補助金を支給する（1名）。
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）の補助金を支給する（5名）。
- ・National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨るNCDデータを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務める。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第97回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。
日時 令和2年8月15日
場所 パシフィコ横浜ノース（横浜市）参加予定者数 1,000名
テーマ 「外科医として知っておくべき対テロ・災害・外傷対策」
- ・第98回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。
日時 令和2年10月中
場所 大阪国際会議場（大阪市）参加予定者数 1,000名
テーマ 「外来・短期滞在型手術」
- ・第28回生涯教育セミナーをE-learningとして行う。
テーマ 「未定」

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・ National Clinical Database（NCD）に参加し，外科症例登録のデータベース事業に協力する。
- ・ 「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン（Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine）」に基づく Cadaver Surgical Training（CST）の普及を図る。
- ・ 厚生労働省，総務省，日本内視鏡外科学会および日本ロボット外科学会などの協力を得て，「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に基づく手術支援ロボットを用いた「遠隔手術ガイドライン」の作成と，実証研究を行う。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第4条第9号）

- ・ 広報活動として，第46回市民講座を下記のとおり行い，ホームページで動画配信する。
日時 令和2年8月中

⑩医療政策に関する建議（定款第4条第10号）

- ・ 外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し，外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と，その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力する。
- ・ 「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として，死因の調査分析事業に協力する。
- ・ 「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力する。
- ・ 「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し，日本麻酔科学会と定期的に懇談すると共に，外科医の労働環境の改善に向けたタスクシフトの普及を図る。
- ・ 日本女性外科医会と協働で，医師の継続就労と支援についてのアンケート調査などを行う。
- ・ 外科医の適正数について検討し，外科医へのインセンティブの付与などを関係官庁に要望する。
- ・ 外科医の無過失補償制度について検討する。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第11号）

- ・ 役員を選任する。
- ・ 代議員選挙の電子投票化の準備を行う。
- ・ 財務の健全化に向けた検討を行う。
- ・ ホームページのリニューアルを行う。
- ・ 事務所の移転に向けた準備を行う。